

## ユニバーサルデザインの視点を踏まえた「学びやすさ」の構築 行動の背景を考えよう①



【指導室 特別支援教育班】

教室の中には、様々な特性のある多様な子供たちが共に学んでいます。気になる子供の行動には必ず要因があり、それを含めて支援を考えていくことがとても大切です。今回から4回にわたり、「気になる子供の行動について、その特性や要因を踏まえて支援を講じること」について具体的に例を出して考えていきたいと思ひます。

### 例 授業中手いたずらなどをして、指示を聞いていないでぼ～っとしている。



- ？ 集中力が続かないのかもしれない。
- ・他の刺激に注意を取られてしまうのかもしれない。
  - ・手いたずらなどの自己刺激で自分の世界に入りやすいのかもしれない。
  - ・視覚優位や聴覚優位などの知覚認知の偏りがあり、理解することが苦手なのかもしれない。
  - ・分からないことの積み重ねで、学習意欲が低下しているのかもしれない。



### 手立て

#### 1 教室環境を整理・整備する。

- ・黒板周りを整理したり、教師用机の上を片付けたりするなど、周囲の刺激に影響されないようにする。
- ・モデルとなる友だちを前にしたり、他の友達が気にならない中央前方にしたりするなど、座席の位置を配慮する。



前だと集中しやすいな

#### 2 指示を分かりやすく簡潔に伝える。

- ・大切な内容は板書したりジェスチャーを併用したりするなど、視覚的にも伝える。
- ・注目しているか、全体の様子を見渡してから話をする。
- ・一つの指示で一つだけの行動を促す。具体的で短い言葉で伝える。



みんな顔を上げていぞ

1つ目は～をします。  
2つ目は～をします。

#### 3 できることや答えられることから取り組み、自信とやる気につなげる。

- ・全員が「分かる!」「できる!」ような簡単な発問から始めるようにする。
- ・「yes/no」で答えられるような発問や、簡単に挙手できる状況を作り、授業の開始に主体的に参加できるようにする。



今は～をします。  
ポイントは～です。

#### 4 全体に指示をしたら、机間巡視をして、気になる子供へ声をかけたりヒントを出したりする。

#### 5 終わりが分かり、見通しをもって取り組めるようにする。

- ・活動内容を提示する。
- ・終了時刻を提示したり、タイマーで残りの時間を示したりする。

授業の流れ

- 1 復習
- 2 江戸幕府
- 3 グループ活動
- 4 発表
- 5 ふりかえり



### Point!

- ・集団の中でできる支援から考えます。
- ・効率的にできる支援を考えます。
- ・全員にとって居心地が良い状況が大切です。

例



- ・授業中に一方的な発言を繰り返し、友達とトラブルになることがある。
- ・今やるべきことが何かを理解することが難しいのかもしれない。
- ・「発言したい」という衝動をコントロールすることが難しいのかもしれない。
- ・自己肯定感が低く、自分をアピールしたいのかもしれない。
- ・相手の気持ちを察したり他者の立場になって考えたりするのが難しいのかもしれない。
- ・学習内容が理解できず、飽きてしまうのかもしれない。



手立て

1 学級全体で統一したルールを決めて、提示する。

- ・教室の目に付く場所に掲示し、常に意識できるようにする。
- ・必要に応じてその場で繰り返し唱え、上手に聞いている子供を称賛する。

|                               |                              |                               |  |
|-------------------------------|------------------------------|-------------------------------|--|
| おえういあ<br>終わりまで<br>うなずきな<br>がら | 聞き方「あいうえお」<br>相手を見て<br>一生懸命に | おえういあ<br>終わりまで<br>うなずきな<br>がら | 話し方「あいうえお」<br>相手に聞こえる大き<br>いそがずゆつくり<br>うつつむかないで<br>おえういあ<br>終わりまで<br>うなずきな<br>がら |
|-------------------------------|------------------------------|-------------------------------|--|

2 発言する機会を、事前に視覚的に提示する。

- ・授業展開で、発言や質問できる順番を視覚的に示しておく。
- ・発表する順番も、座席の順番など分かりやすくし、自分の順番を意識できるようにする。
- ・課題や質問内容を視覚的に示し、発言内容がそれないようにする。

質問は後でできるんだな



運動会のリレーについて

【先生の話】

- 1 運動会の日時
- 2 リレーの方法
- 3 選手の決め方 **重要!**

【質問タイム】

【相談タイム】

3 教師が声をかけやすい座席にする。

- ・座席はできるだけ前方の中央よりにし、注意を促したり、発言を抑制したりしやすいようにする。
- ・発言するときは順番を伝え、「発言を止められた」という気持ちを和らげるようにする。



ぼくの番は、次の次だな。

4 授業内容を分かりやすくし、授業中の指示を明確にする。

- ・見通しをもって取り組めるように、授業の流れを統一して提示する。
- ・課題や質問の内容等を板書し、発言内容がそれないようにする。
- ・教職員間で共通理解を図り、どの教科でも同じ形態で板書をする。(問題は青、まとめは赤の枠で囲うなど)

学習問題

教 P.36 合同な図形

授業の流れ

- 1 復習
- 2 合同な図形
- 3 グループ活動
- 4 発表
- 5 ふりかえり

まとめ

びっくりするかも・・・

5 行動を振り返る機会を設ける。

- ・休み時間など、個別に話を聞きながら、自分の行動を振り返るようにする。
- ・話を聞きながら、話をするときのルールを伝えたり、相手の気持ちを考えたりする機会をもつ。



突然話しかけられた友達は思ったかな。